

七 浜

第164号

福島県公立学校
退職校長会
いわき支部
発行責任者 一 宏
編集 七 浜
編集委員会

本号の主な内容

- 1面 いわき支部総会・アトラクション
- 2面 賀寿・賀詞伝達の様子・支部組織
- 3面 賀詞の続き・支部組織続き
- 4面 新入会員の感想・歓迎の言葉
- 5面 新入会員の感想・私の楽しみ・方部の伝言板
- 6面 退職校長会県大会・ご逝去を悼んで
- 7面 クラブ活動今年度の計画
- 8面 文芸

新型コロナウイルスが5類移行となり、規制もなくなり、社会活動にも少しづつ活気が戻ってきていることを感じる。それでも終息には至らない。そんな中、退職校長会も4年ぶりとなる総会の開催にこぎつけた。

第58回 支部総会開催

強い風が吹き荒れたが、久しぶりの総会を祝うかのように晴れあがった4月22日、令和5年度第58回いわき支部総会が来賓の皆様を迎え開催された。

武田副支部長の開会のことばに続いて、国歌斉唱、物故会員への黙祷の後、沢支部長のあいさつ。沢支部長は、4年ぶりに総会が開催できる喜びの一方で、大震災から12年が経過したが、コロナ禍で制約される種々の活



あいさつする沢支部長

動、世界に目を向ければ、困難な状況が非常に多いこと等をあげ、こんな時だからこそ、「互いの会員をおもいやり、ともに支え合い、声をかけあつて、困難な状況をのりこえていけるように。」
と今年度の様々な事業を丁寧に進めていくことを述べた。
続いて新会員の紹介、今年14名の方が入会してくださった。うれしい限りである。新会員を代表して、塚本英樹氏が親睦に努め、第2の人生が豊かで充実したものになるように努力していくことを話された。
続いて記念品・感謝状贈呈に移り、記念品は、代表の黒川満寿生氏に、感謝状は、前支部長の増井健二氏に贈呈された。次



会場の様子

に受章者を代表して須永健司氏からあいさつがあつた。受章時のエピソードなどを支えながら現在の状況なども話して下さった。大事なものは、「きょういく(今日行く)」ときょうよう(今日用)」とのこと。

来賓祝辞では、内田広之市長が、25年間の文科省勤務があり、教育には格別の思いがあることと教育関係で力をいれている3つの点について述べられた。

① 学校支援チームを結成して学校の支援に当たっていること。そのために年間すべての小中学校を訪問しているとのこと。
② 学校環境・学習環境の整備に努めていること。例としてトイ

100%達成される。

③ 様々なテーマに対応できるハイレベルな教育の推進。
続いて、佐藤公一いわき教育事務所長が県の重点「学びの変革」を柱として教育の推進に努めること。教員不足の事態への対応等について話された。10名の来賓紹介の後、議事にはいった。

藤川聖一氏と小野始氏が議長に指名された。議事はスムーズに進行し提案のすべての議事が承認され、飯塚啓文副支部長の閉会のことばで4年ぶりに開催された今年度の総会は終了した。

はじめの試み アトラクション

しなやかな

ダンスにうつとり

懇親会ができないかわりに企画されたアトラクション。今回は、「フラガールズ甲子園を学ぼう!」特定非営利活動法人フラガールズ甲子園理事長の小野英人氏から講話をいただいた。



フラガールズ甲子園の歴史や活動、全国規模となった経緯等についてお聞きした。その後磐城第一高等学校フラガール部の生徒さんの演技を鑑賞。8名の練り上げられたダンスには、身を乗り出して大きな拍手を贈る姿も見られた。最後にフラガールズ甲子園の舞踊担当理事、我妻純子氏の踊りを鑑賞。「愛燦燦」のメロディにのせて踊られ、会場には、ゆつたりとした時間が流れた。
磐城一高は、夏に行われるフラガールズ甲子園に、今年も参加すること、活躍を祈りたい。

おめでとうござい 長寿のお祝い



賀寿

平北
鈴木 茂氏
昭和3年3月7日生

先生の95歳の誕生日の3月7日に方部役員の鈴木貴一先生と先生の自宅を訪問させていただきました。

先生は用事があつて留守でしたが、長男ご夫妻が応対してくれました。

賀寿

飯野
阿部 良全氏
昭和3年4月27日生

4月27日、鈴木光男方部長とともに阿部先生の賀寿のお祝いに行つて参りました。

も若々しく感じられました。表彰状・記念品の贈呈の後、ご自身の足跡をまとめられた「在職中の主な実績」「退職後の主な活動一覧」をもとに楽しそうに話をされる姿が

するとともに、今回の長寿の表彰についてお聞きすると、先生もご存知とのことでした。

そこで、表彰状を先生にお渡しすることをお願いするとともに、健康でお過ごしくださるよう話をして帰りました。表彰状を受けとった先生はとても嬉しそうな姿を見せてくれたそうです。

(平北方部委員 笹川直樹)

賀詞

平窪
須永 健司氏
昭和10年1月28日生

誕生日の1月28日、飯間康則副部長、方部委員の2名でご自宅にお伺いし、賀詞の表彰状と支部の記念品をお届けしました。和やかな雰囲気の中、在職最後の年度に小教研特別活動の部長、実行委員長として小川小学校での東北大会開催にご尽力され、いわきの特別活動ここにありを示す

賀詞

内郷
黒川満寿生氏
昭和10年3月13日生

梅の花が満開に咲き誇る3月吉日、門馬公紀先生と方部委員の2名で自宅にお伺いし賀詞を読み上げ無事伝達する事ができました。黒川先生は、岩瀬郡天栄村立牧本中を始め英語教員としてその後今に至るまで英語教育に情熱を注いで来られました。特にアメリカンスクールとの交歓会、海外視察団の通訳の話、そして

ことができた思い出を張りのあるお声でお話してくださいました。また地域の老人会ではよきまとめ役を果たされ、米寿お祝いの挨拶の中で「生んでくれた両親への感謝」「長く連れ添ってくれた妻や同居の家族への感謝」家に引きこもるのではなく、常に外向きの性格でいること」の3つの心がけを話されたそうです。

先生のみますますのご健勝を心からご祈念申し上げます。

(平窪方部委員 斎藤昭三)

最高齢で応募されたオリンピックのボランティアの話など先生の英語教育に対する情熱の一端を用意された資料からも伺う事ができました。65歳を過ぎてから始めたパソコンや78歳で奥様と完走されたホノルルマラソンの事など、お元気な姿に驚かされました。生涯英語教育に心身をささげられている姿に感銘を受けました。黒川先生のますますのご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

(内郷方部委員 松本伸一)

令和5年度 いわき支部の組織

(令和5年6月1日現在)

顧問	阿部郁夫	高木 清
	渡部祐亨	山内正衛
	賀澤裕三	三星賢二
	鈴木雅之	増井健二
支部長	沢 宏一	根本良政
副支部長	武田幸子	
監事	飯塚啓文	
	小峰美保子	斎藤昭三
	稲沼正雄	
県評議員	沢 宏一	村田 哲
理事	鈴木光男	福羽俊光
	吉田一右	中根孝雄
	西山允雄	鈴木英雄
	藤川整一	黒川満寿生
	佐々木澄子	川島秀隆
	丹 正文	五十嵐讓
	平子恵雄	山口洋子
	小野 始	笹川庸雄
	田所正美	折笠文昭
	鶴沼美枝子	村田 哲
	金内三郎	高木典子
	門馬 栄	武藤忠晴
	櫛田祐子	比佐 功
	神田 豊	佐藤保久
	森 均	大平好一
	曾川孝規	鈴木廣美
幹事長	村田 哲	

賀詞

常磐

山勢 重昭氏

昭和10年3月30日生

満開の桜が見られるようになった3月30日、賀詞のお祝いをお届けしてまいりました。先生は足の具合が良くないとのことでしたが、室内歩行は問題はなく奥様と二人で出迎えて下さいました。

退職後20年近く、山登りの会に入り、活動していらっしやうたそうですが、歩行が思わしくなくなつてからは、もう一つの趣味である古文書

賀詞

内郷

根本 榮信氏

昭和10年4月10日生

手入れが行き届いた庭には、先生の賀詞を祝うかのように藤の花が満開に咲き誇る4月14日、根本榮信先生のご自宅に川島新方部長と方部委員の2名で伺いました。方部長からの賀詞の伝達の後、先生から懐かしいお話を聞き出すことが出来ました。

読解を中心に日々研鑽しているとのことでした。今は、月に一度、小名浜で開かれる古文書の会が何よりの楽しみとのことです。

古文書の読解で「い」の字から始めたものの昔の人の字はかなり癖があり、読むのが大変だったことや、古文書の取り扱い方等、興味深い話をお聞きし、引き込まれました。

今後とも、奥様共々、ますますお健やかにお過ごしになれることを祈念いたします。

(常磐方部委員 滝 英長)

賀詞

好間

渡部 祐亨氏

昭和10年5月21日生

渡部祐亨先生の米寿のお祝いのためご自宅への訪問の連絡をさせていただいたところ、丁度、娘さんが出て下さいました。お話を聞きすると、先生は現在闘病のため、市内の病院に入院中とのことでした。先生への伝達は直接できないことから5月22日、先生に代わり娘さんへ賀詞と記念品をお渡ししました。

娘さんから先生の状態について

先生は父親の仕事の関係で現在の北朝鮮に生まれ、小学4年生の時に終戦となり、ソ連軍が侵攻する中、大変つらい思いをして引き上げて来たことを感慨深く話して下さいました。現在、ウクライナでの戦争の様子を見る度に心が痛むとのことでした。

最近の様子をお聞きすると、自宅の敷地内にお孫さんが新居を建てられたことから、二人の曾孫さんが遊びに来てください、遊ぶ様子を見守っているとのこと。また、手作りの料理をつまみに毎日晩酌を楽しんでいること等々を笑顔で話されていました。

コロナがまだまだ続く折、くれぐれも健康に留意されてお元気に過ごされるようにお伝えし、先生宅を後にしました。

(好間・三和方部委員 吉田 兼光)

いてお話を聞きしたところ、自宅での一人暮らしが長かったことから体力がだいぶ落ちており、一人歩行もできない状態であったとのことでした。また、コロナの関係で家族でも直接本人との面会はできないため、現在の状況もわからないとのことでした。

一日も早く退院され、ご自宅での生活ができますよう祈念申し上げます。

(好間・三和方部委員 吉田 兼光)

表彰状・記念品について

表彰状は全国連合退職校長会から、記念品は退職校長会から、記念品は贈られます。



庶務	金内三郎	高木典子
	門馬 栄	武藤忠晴
	櫛田祐子	比佐 功
	神田 豊	佐藤保久
	森 均	大平好一
	曾川孝規	鈴木廣美
会計	経理長	高木典子
	櫛田祐子	鈴木廣美
会報	委員長	鶴沼美枝子
	委員	丹 美枝
	金子美津子	佐藤正則
	澤田三登利	佐久間静子

方部委員
●印は方部代表
(令和5年6月現在)

平	●荒川良治	笹川直樹
	団野勝一	大和田一成
	齋藤貢一	斎藤昭三
	小峰美保子	阿部孝貞
	宮内壽雄	
四倉	●野木謙三	鈴木廣美
久之浜	●橋本蒼延	(28名)
川前	●佐藤正則	(7名)
内郷	●門馬公紀	
	●松本伸一	(30名)
好間	●吉田兼光	(16名)
三和	●渡邊 隆	
小名浜	●鶴沼 淳	(37名)
常磐	●滝 英長	
	●鈴木洋一	(34名)
勿来	●小野 始	田所正美
遠野	●折笠文昭	(2名)
	●菅川庸雄	(37名)

竹の会報の存在感

今年度は14名の新会員を迎えることができた。新型コロナウイルスへの対応で心砕いた日々を胸に、新しい一歩を踏み出した会員がほとんどである。更なる活躍を願っている。

晴れ晴れとして

高野 淳一

職を退き、心が想像以上に軽くなりました。これまでの生活が嘘のように、晴れ晴れとした気持ちです。4月から市の体験型経済教育施設（エリム）で働く機会を頂きました。少しは、自分のリズムで

歩いていきたいと思っています。

(前平第一小学校長)

新たな気持ちで

平子 宗司

令和4年度末を以って、37年間の教員生活を終えることができました。4月からは新採用指導教員として新たな気持ちで小学校に勤務しています。心豊かな後輩の育成に一杯努めていきたいです。

(前平第三小学校長)



ようこそ！14名の新入会員の皆様

副支部長 武田 幸子

ようこそ！14名の新入会員の皆様。私たち退職校長会いわき支部の会員一同、心より歓迎致します。

新しい爽やかな風が吹き、より充実したいわき支部への一歩を共に踏み出せることを嬉しく思います。

三つの柱

中野 直人

今の時代、「60代は若い」と考え、初任者指導教員として「仕事」を続け、ウォーキングや筋トレで「体力」をつけ、自由な時間を愉しみ「気力」を高める、この三つの柱を大事にしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(前赤井小学校長)

退職後の部活動

佐伯 哲夫

退職後「部活動」と称して毎朝妻と一緒に近隣の道路や公園のゴミ拾いを行っています。社会のため、家族のため自分のために、少しずつ部活動を増やしていきたいと思えます。今後も諸先輩方のご指導よろしくお願ひいたします。

(前大浦小学校長)

新たな気持ちで

塚本 英樹

この3月末に退職を迎え、これまで支え、導いて頂いた多くの先輩方、同僚の方々に感謝しております。4月から

は3度目の市教委勤務です。新たな気持ちで役割を果たしていきたいと思えます。学ぶ心を持ち続けながら。

(前平第一中学校長)

多くの人に支えられ

日野 俊隆

先輩、後輩、同僚と多くの方々に支えられ、無事定年退職を迎えることができました。心より感謝しております。

4月からは、初任者研修のお手伝いをさせていただいております。初任者の力になれるよう努力してまいります。

(前平第三中学校長)

入会にあたっての初心

松崎 伯文

私は教職の半分以上を特別支援教育に関わってきました。今後は本会員にさせて頂いたことで諸先輩方のお力をお借りし、この教育理念を広げていきたいと思えます。

(前中央台北中学校長)

中学生に力を借りて

小野 匡之

現在、錦中学校で再任用教員としてお世話になっております。体力的には厳しいですが、英語の授業や卓球部の練習を中学生の力を借りながら頑張っています。楽しい毎日です。

(前内郷第一中学校長)

新たなステージ

山崎 喜保

再任用教員として内郷第三中学校に勤務しております。社会科の授業を全学年担当しており、校長時代とは違った緊張感ある毎日を過ごしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

(前内郷第二中学校長)

教壇から再スタート

鈴木 正人

4月より、再任用として教科指導に携わりながら、学校生活を再スタートしました。初心に返り、教えると学ぶを楽しんでいます。諸先輩方へ続き、健康第一で日々歩んでいきたいと思えます。

(前泉中学校長)

気持ち若返る

吉成 主宏

再任用として川部中学校で仕事をさせていただいています。校務分掌は3年副担任、進路指導主事です。3学年全ての理科を担当し、定期テスト問題作成は3学年分とかなかなかハード、しかし採点はあつという間に終わります。(前湯本第一中学校長)

私立に再就職して

渡邊 昌和

退職の実感は今全く無く、「異動」感覚の毎日です。身体のがたも出る中、年金受給の日まで「健康第一」「SDGs」を心がけ、久々の授業や校務分掌に早く慣れ、老害と言われないよう頑張りたいと思います。(前錦中学校長)

夢は今も色あせず

鈴木 康隆

出会った生徒達が未来を支える夢、出会った生徒の数だけその夢が広がることに夢を抱いた教員人生、災害やコロナ禍に見舞われても輝き続け

方部の伝言板

59

「活動再開を目指して」

—夏井・高久・豊間方部—

阿部 孝貞

夏井・高久・豊間方部は、夏井小、高久小、藤間中、豊間小、豊間の学区で、太平洋沿岸に広がる風光明媚な地域です。小中学校はまさに「地域の学校」としての色合いが強く、保護者や地域住民が学校に寄せる期待には大変大きなものがあると感じています。そのような中において、方部の退職校長会が果たすべき役割にも大きなものがあるのではないかと思っています。

当方部でもコロナ禍以前は、「学校へ行こう週間」やる生徒達の笑顔に、抱いた夢が今も色あせていないことに幸せを感じています。(前福島工業高等学校長)

初めまして

橋本 忠広

50代は湖南2年、いわき光洋3年、南会津3年、須賀川

ずつ再開されつつあります。小中学校も、閉ざさざるをえなかった門戸を開放しつつあります。学校行事等への保護者の参加制限も次第に緩和され、学校評議員会なども開催されるようになり、学校と地域とのつながりが再開されつつあります。このような状況にあつて、方部の退職校長会としてもなんらかの形で学校

を支援できればと考えているところです。

当方部の会員は11名です。会員同士が集まる機会も持たず、すっかり疎遠になってしまっている現状です。まずは希薄になってしまっている会員相互の懇親を図るところから始めていきたいと思っております。

わたしの楽しみ

下山田 祐司

自分が好きなことに打ち込んでいる会員は多いと思うが、そんな中のお一人を紹介したい。泉にお住まいの下山田祐司氏。毎年、グリーンカーテンのコンクールに取り組んでおられ、一昨年は優秀賞、昨年は最優秀賞に輝いた。取り組んだきっかけや今後の抱負などを綴っていただいた。

今年も我が家の軒下にネットを張って植物を植えました。植え始めて7年目になりました。植え始めて7年目になりました。朝顔、琉球朝顔、ゴーヤ、へちまなどです。南側一面、縦4m、横10mになります。始めたきっかけは、夏の強い照り返しと熱風、それを少しでもやわらげるとともに、省エネを考えたからです。4月のネット張りからはじま

て、種植え、植え付け、散水、葉が育つように花芽取りなど毎日の日課になりました。大変ですが、育つ楽しみが私の心の栄養になったように思います。いわき市の「緑のカーテンコンクール」に応募していますが、家庭部門での参加ですが、毎年入賞することができ、感謝しています。また、次年度への励みとなっています。

第57回 県大会(郡山)報告

6月14日、郡山ビューホテルアネックスを会場に、今年度の退職校長会の県大会が開催された。いわきからの参加者は、15名。

多くのご来賓をお迎えし、根本保男実行副委員長の開式のことばで会が始まった。

会長あいさつでは、福士寛樹会長が、4年ぶりに、新型コロナウイルス感染前のように開催できたことは、大変喜ばしいと話された。また、結成当初の理念である「会員相互の旧交と親睦を深める」「福島教育に寄与する」を再認識したとも話された。



会場の様子

講演は、安積国造神社宮司の安藤智重氏。「近代日本の礎 安積良斎」と題して講演された。安積良斎は安積国造神社宮司家に生まれ、江戸に上り、昌平坂学問所の教授となり、吉田松陰や岩崎弥太郎とも師弟関係にあった。近代日本に影響を及ぼした良斎の思想や功績等を、詳細にわかり講演してくださいました。



いわきからの参加者

午後は体験発表。はじめは、福島支部の「リタイヤ後は、利他 Years!」。ベトナム等の貧しい村々に様々な支援を続ける中で、瞳輝く子どもたちの姿に触れ、心打たれているとのことであった。

次は、南会津支部の「日本遺跡 御蔵入三十三観音」を取材して。当時の南会津が交通の要所であり、住人の信仰の厚さに支えられて三十三観音が現在まで受け継がれてきたこと等、新たな発見があったと話されていた。

最後は、相馬支部の「本事業における障がい者就労支援の現状と課題」。障がい者が丁寧に作業をする様子を紹介し、その成長を感じながら日々支援の在り方を考えさせられているとのことであった。

次期開催は、令和6年度安達大会が予定され、体験発表でいわきも担当になっていると開会式で報告があった。

帰りの車中では、沢宏一支部長から「退職後の生き方を考えさせられるいい機会となった。」とお話があった。

対面での開催の雰囲気を楽しみながら、充実した一日を過ごすことができた。(澤田)

「白鷺句会」を閉じるにあたって
白鷺句会 会長 高萩 弘道

俳句クラブ(白鷺句会)は昭和43年、伊藤伊佐次先生を部長として結成、以来半世紀以上にわたって活動を続けてきましたが、諸般の事情で本年4月、会報第653号を以て幕を閉じることになりました。

ご指導いただいた歴代の会長や先輩会員、ご支援ご鞭撻をいただきました。

※句会報最終号より転載させていただきます。

ご逝去を悼み心からご冥福を祈ります

故 齋藤 公郎先生
誕生 昭和7年7月24日 逝去 令和5年2月2日

故 山森 正弘先生
誕生 大正14年11月23日 逝去 令和5年2月20日

故 福本 分吾先生
誕生 昭和6年2月4日 逝去 令和5年5月5日

故 田仲 功先生
誕生 昭和17年9月16日 逝去 令和5年6月18日

前号で、伊藤先生のお名前が間違っておりまして、お詫びして訂正いたします。伊藤行知↓行和

クラブ活動11ヵ月の計画

長年、七浜の紙面を充実させてくださった俳句クラブが、昨年度をもって、その活動を閉じた。今年度からは、個人での活動となる。それぞれの更なる活躍を期待したい。他のクラブは、今年の活動を開始しているところが多い。今年度も充実した活動を。

園芸クラブ

部長 鈴木 彰

コロナ騒ぎも収まり、今年の園芸クラブ総会は去る5月21日いわき公園で開催されました。新会員が1名、退会者が1名、昨年と同じ、10名での始動です。

配布されたドーム菊苗の鉢上げと小菊盆栽の仕立て方の研修も併せて実施しました。6月、7月の苗配布と9月を加えた3回の実技研修も計画されています。

また「菊以外にも研修の幅を広げ、新会員を募っては」との提案もありました。恒例の「菊花展」は11月上旬

旬、中央台公民館で開催予定です。どうぞ、ご覧ください。

旅行クラブ

部長 片寄 善勝

今年度は、昨年度同様16名での発足です。

5月15日、草野公民館で3年ぶりに総会を開催し、活動計画等について話し合いをしました。

初夏旅行は、5月31日～6月1日「ローカル鉄道只見線と越後湯沢温泉」の観光バスツアーに参加してきました。

11月には「秋の旅行」を予定しています。9月上旬に観光会社のチラシを見て決めます。ツアーに便乗するので安い料金で手軽に旅行ができます。途中の入会も大歓迎です。

囲碁クラブ

部長 山口 恒義

本年度のメンバーは、3年間全員変わらず9名です。こ、数年間新入部員が無いのが残念です。少人数ではありますが

が皆熱心に対局し、常に向上を目指し励んでいます。

活動計画は、例年通りですが、毎月3回定例会・年5回各種大会・県大会福島大会を予定しています。特に大会での成績優良者は、昇段と褒賞のチャンスなので一段と熱戦が繰り広げられます。その他に、高久公民館を借用しての活動なので、小学生の公民館活動の見学会や「高久公民館まつり」のスタッフとして地域活動にも協力しています。

船釣りクラブ

部長 高羽 博樹

今年度は、会員の減少で、通常の活動は無理となり、活動は休止としました。

今後については、思案中です。

絵画クラブ

部長 西山 允雄

今年も生活に美と潤いを求めながら月1回の制作会と年1回の展示会を計画しております。例会の内容は、会員が当番で決め、室内7回(静物や人物写生) 野外写生を2回

予定しております。

今年の展示会は9月18日から9月24日まで文化センターで開催します。昨年より一か月早くになりました。会員一同、今から作品の制作に余念がありません。

昨年、いままでコロナ禍のためできなかった写生旅行を久しぶりに実施、有意義な旅行になりました。今年も秋に実施する予定です。

ゴルフクラブ

部長 若松 榮一

5月18日(木)、小名浜CCで令和5年度最初のコンペを開催した。総会も4年ぶりに行った。今年度は31名(いわき22名・双葉9名)での活動となった。

今後の例会コンペ予定コースは次の通り。

6月ヘレナ国際CC・7月サラブレッドGC・9月ハワイアンズGC・10月塩屋崎CC・11月湯本スプリングスCC・3月五浦庭園CC・4月小名浜オーシャンGC。

実施日は、いずれもその月の第3木曜日。

「明るく 楽しく 元気で 長生き 生涯ゴルフアー！」

ターゲットトバード ゴルフクラブ

部長 江尻 元茂

5月12日、草野公民館で総会を開催し、活動計画等について話し合いをした。

毎週水曜日の定例会、年2回のコンペを予定しているが、会員の体力にに応じ、また感染症の流行期や酷暑・厳寒期には活動休止期間を設けるなど柔軟に対処したい。

会員数5名という少ない人数での活動となるが、健康維持増進と親睦を第一に考えながら活動を進めていきたい。発案者の「気軽にゴルフの練習をしたい」という思いと、アポロ着陸船がふわりと月に降りた様子に着想を得て、この競技が誕生したそうである。



文芸欄

詩

美しき日本語

吉田 紫水

童謡「赤とんぼ」にある、夕焼け、小焼けの赤とんぼの「小焼け」って何？
 単純に、語調を整えただけ…とする一般的な解釈でいい？
 童謡「仲良しこよし」の「こよし」って何？
 特に、意味は無いけど、声に出した時の調子が良く、七五調にまとまるので、「仲良し」や「夕焼け」に付足したと言うけど本当？
 「夕焼け」は単に情景なのに、

書

「良辰美景 賞心楽事」

良辰美景 賞心楽事

孝道

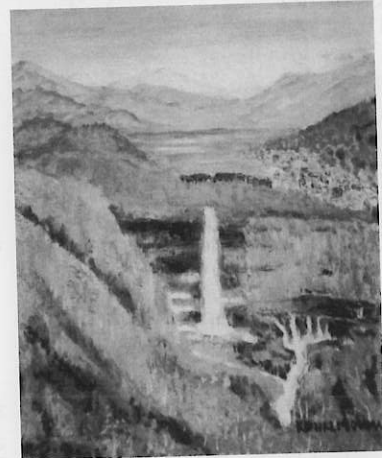
(読み)
 辰美景を良しとし、心楽事を賞めず
 (解説)
 日柄の良い日に、美しい景色を見て、楽しくなり、心が豊かになることが、人生では大切なことかなあ

唐王勃

中根 孝雄

「夕焼け小焼け」になると、光景美に加え、帰る我が家のあたたかさや終日時の寂しさのような心的な情景も生じるから言葉は実に不思議。その思いが強ければ強いほど、幼少時を思い出すという、一種の切なさもあふれ出る。幼少時の思い出は、ちょうど夕日のように、じわつと温かい。誰もがこの思い出を辿りながら、夕焼けに励みを得るんだと思う。夕焼け、小焼け……、言葉はかくも美しく響き、今時代のわたし達の心を温める。先人の知恵と素敵な言葉遣いに改めて感服。
 ふと見上げれば、西の空は今日も素敵な夕焼け。

絵画



華巖の滝

門馬 公紀

明智平からの景色があまりにもすばらしく、中心に華巖の滝、奥に中禅寺湖、その里には残雪の山なみ、近くには5月初旬なのに、「アカヤシオ」が咲き、山の木々は、芽いたばかりの黄緑色がきれいで、私の絵筆では、とてもあわしきれない絶景でした。

短歌

賀寿

阿部 良全

賀寿褒状受けしはお前のお陰もよ今朝も微笑む妻に香上ぐ
 わが道に賀寿迎へたる誕生日
 顧みて良し全く生きむ

曾孫

矢内 孫次

しまらくの曾孫の顔に燥きたり
 (老犬)モカの顔には寂しさ見ゆる
 抱いて見る曾孫の顔の安らけし親の在り日は遠くなりたり

俳句

高橋 彦彦

六月の風こそばゆし桐の花
 相寄りて擁き合ふごとく
 枇杷熟るる

佐久間静苑

座禅する寺うぐいすの
 声響く
 子らの声 螢とび交う
 畦小道

川柳

志賀 英信

懇親会 通知来るたび 緩むほほ

只見線 控えめの酒 超美味い

編集後記

コロナ禍も落ち着いて普通の生活が少しずつ戻ってきました。外国旅行者も増えてきました。今までがまんしてきた。今でも好きに事に時間を使うことを大切にしていきたいものです。自然の美しさに感動し、6月24日からいわき市立美術館で開催されているエジプト展を見て古代の文明に触れてみませんか。
 視野を広げ、たくさんの人と会話を楽しみ脳の活性化を第一として健康な毎日を送ることを提案いたします。
 (佐久間)